

経営比較分析表（平成30年度決算）

北海道 江差病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|-----------|---------|---------|---------------|-----------------|
| 条例全部 | 病院事業 | 一般病院 | 100床以上～200床未満 | 自治体職員 学術・研究機関出身 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営 | 16 | - | ド透未訓 | 救 臨 感へ災輸 |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 看護配置 | |
| 5,304,413 | 12,101 | 非該当 | 10:1 | |

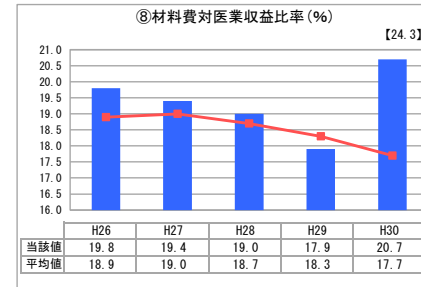
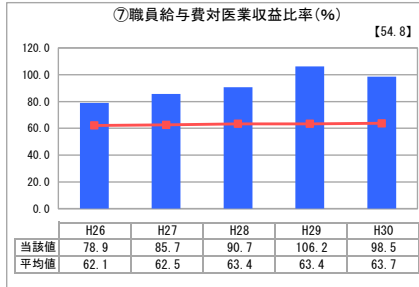
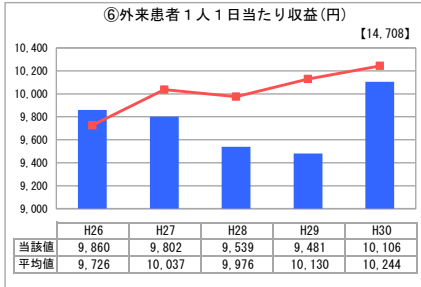
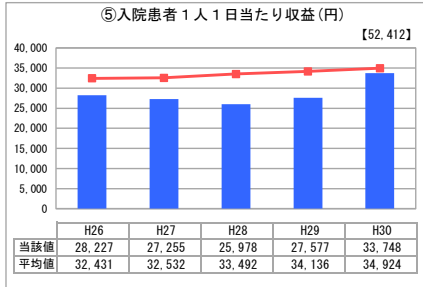
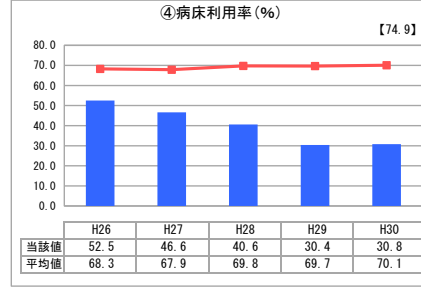
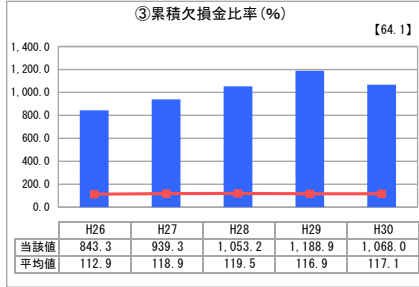
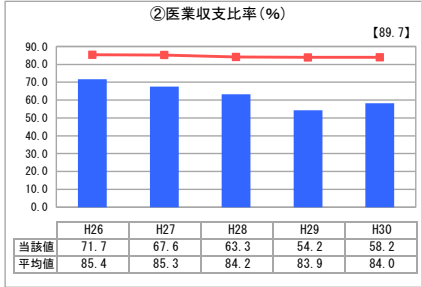
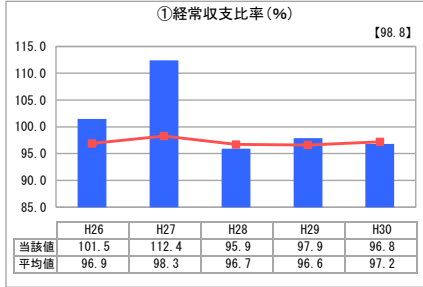
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

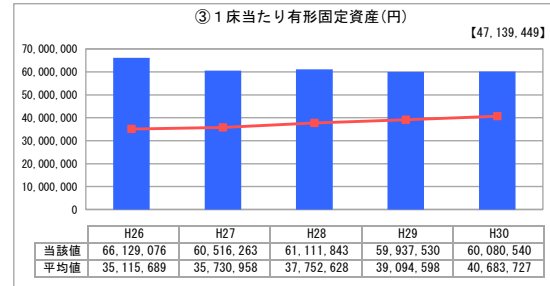
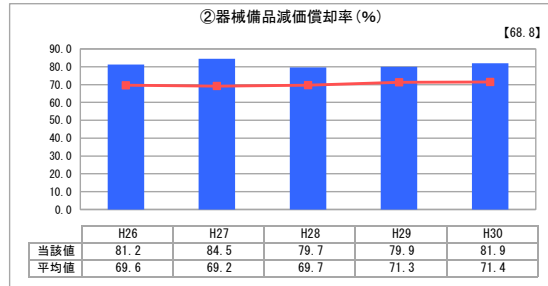
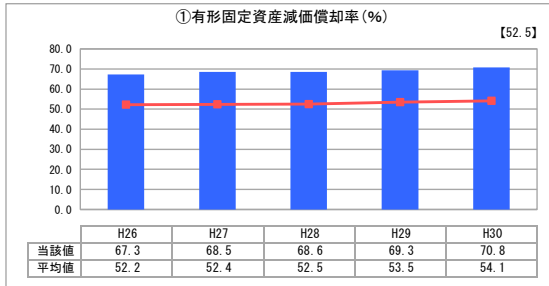
| 許可病床（一般） | 許可病床（療養） | 許可病床（結核） |
|----------|-----------|-------------|
| 146 | - | - |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計） |
| 48 | 4 | 198 |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養） | 稼働病床（一般+療養） |
| 108 | - | 108 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該病院値（当該値） |
| — | 類似病院平均値（平均値） |
| [] | 平成30年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

| 再編・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| -年度 | -年度 | -年度 |

I 地域において担っている役割

南檜山第二次医療圏における地域センター病院として、圏域で唯一の精神科医療の提供及び人工透析を実施するとともに、救急医療機関として輪番制に参画していることや、災害拠点病院の指定を受け、災害発生時にはD.M.A.T（災害派遣医療チーム）の派遣体制を整備するなど、救急医療や災害医療の中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ◆経常収支比率
平成28年度に大幅に下落し、その後はほぼ同程度で推移しており、平成30年度は、⑤入院患者や⑥外来患者の1人1日当たり収益の増加があったものの、繰入金金の減少等により前年度に比べて下落している。
- ◆医業収支比率
⑤入院患者や⑥外来患者の1人1日当たり収益が増加したことにより、前年度に比べて上昇している。
- ◆累積欠損金比率
純損失の計上に伴う累積欠損金の増加により上昇傾向にあったが、平成30年度は医業収益の増加により下落している。
- ◆職員給与費対医業収益比率
職員給与費は増加したものの、医業収益の増加により下落している。

2. 老朽化の状況について

- ◆有形固定資産減価償却率
平成26年度の会計基準の見直しに伴うみなし償却制度の廃止により、有形固定資産減価償却累計額が増加し、その後は上昇傾向にある。
- ◆器械備品減価償却率
平成26年度の会計基準の見直しに伴うみなし償却制度の廃止により、有形固定資産減価償却累計額が増加したため大幅に上昇したが、平成28年度の高度医療機器の更新により一旦下落し、その後は経年により上昇傾向にある。
- ◆1床当たり有形固定資産
平成26年度の会計基準の見直しに伴うみなし償却制度の廃止により増加したが、その後は同程度で推移している。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性」の指標である②医業収支比率、④病床利用率、⑤入院患者1人1日当たり収益及び⑥外来患者1人1日当たり収益は前年度と比較して、上昇傾向にあることから、引き続き、診療報酬請求の適正化による医業収益の確保や、圏域内において必要とされる機能の充実を図り、患者数を確保していくとともに、効率的な費用の執行が必要となる。

また、「2. 老朽化の状況」の指標である①有形固定資産減価償却率や②器械備品減価償却率は上昇傾向にあるため、耐用年数を大幅に経過した医療機器等の更新を進めながら、医業収益の確保を図ることが必要となる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（平成30年度決算）

北海道 羽幌病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|-----------|---------|---------|---------------|-----------------|
| 条例全部 | 病院事業 | 一般病院 | 100床以上～200床未満 | 自治体職員 学術・研究機関出身 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営 | 11 | - | ド透訓 | 救 臨 へ |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 看護配置 | |
| 5,304,413 | 8,702 | 第2種該当 | 10:1 | |

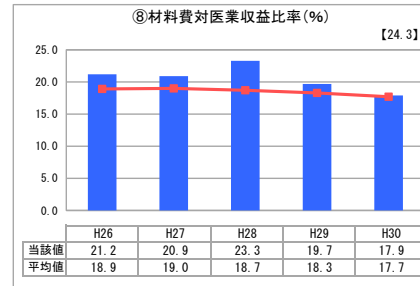
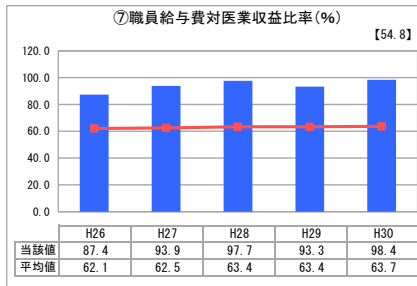
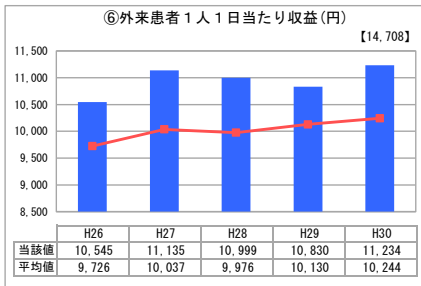
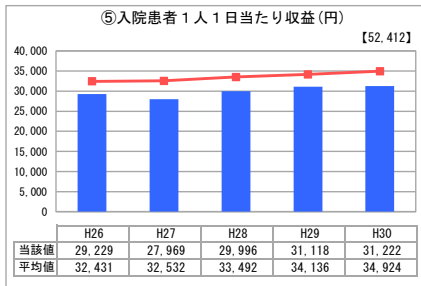
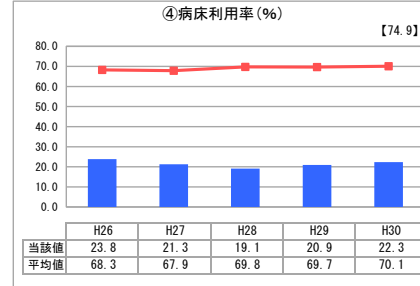
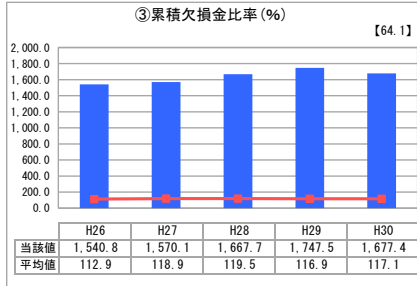
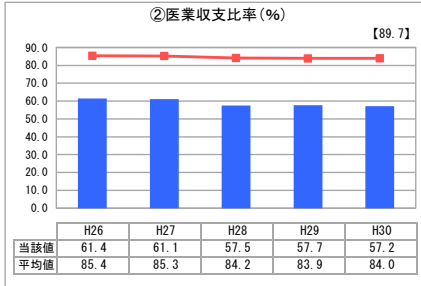
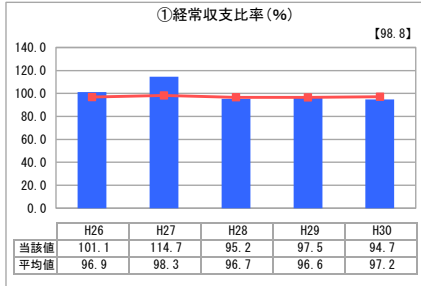
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

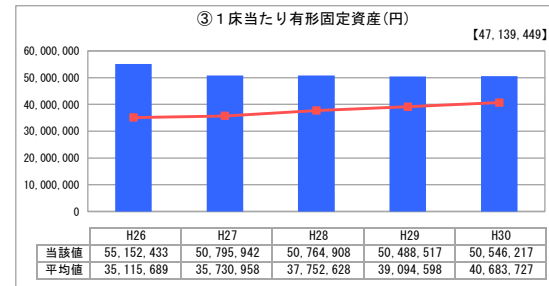
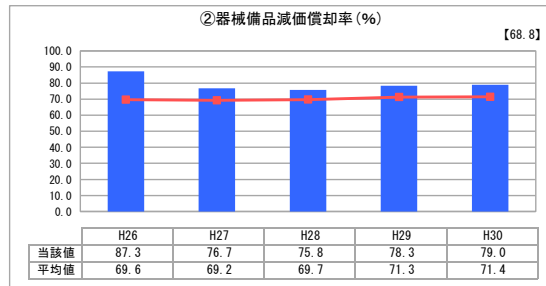
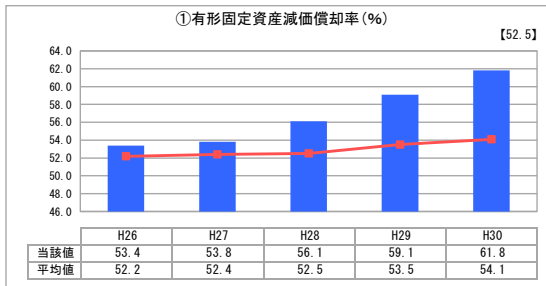
| 許可病床（一般） | 許可病床（療養） | 許可病床（結核） |
|----------|-----------|-------------|
| 120 | - | - |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計） |
| - | - | 120 |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養） | 稼働病床（一般+療養） |
| 45 | - | 45 |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該病院値（当該値） |
| — | 類似病院平均値（平均値） |
| [] | 平成30年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

| 再編・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| -年度 | -年度 | -年度 |

I 地域において担っている役割
留萌第二次医療圏における地域センター病院として、同一圏域のセンター病院や地域の医療機関と連携を図るとともに、人工透析を実施している。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ◆経常収支比率
平成27年度まで上昇し、以降は上昇及び下降を繰り返しているが、平成30年度は、職員給与費やその他経費の増加により下落している。
- ◆医業収支比率
患者数の増加による④病床利用率、⑤入院患者1人1日当たり収益の増があったものの、職員給与費やその他経費の増加により前年度と同程度で推移している。
- ◆累積欠損金比率
総損失の計上に伴う累積欠損金の増加により上昇傾向にあったが、平成30年度は、医業収益の増に伴い下落している。
- ◆職員給与費対医業収益比率
医業収益の増があったものの、職員給与費やその他経費の増加により、前年度より上昇している。

2. 老朽化の状況について

- ◆有形固定資産減価償却率
平成26年度の会計基準の見直しに伴うみなし償却制度の廃止により、有形固定資産減価償却累計額が増加し、その後は経年により上昇している。
- ◆器械備品減価償却率
平成26年度の会計基準の見直しに伴うみなし償却制度の廃止により、有形固定資産減価償却累計額は増加したが、その後は下落傾向にある。
- ◆1床当たり有形固定資産
平成26年度の会計基準の見直しに伴うみなし償却制度の廃止により増加したが、その後はほぼ同程度で推移している。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性」の指標である②医業収支比率はやや下落したものの、④病床利用率は上昇傾向にあることから、引き続き、診療報酬請求の適正化による医業収益の確保や、圏域内において必要とされる機能の充実を図り、患者数を確保するとともに、効率的な費用の執行を行う必要がある。

また、「2. 老朽化の状況」の指標である①有形固定資産減価償却率は上昇傾向にあり、②器械備品減価償却率は平均値を上回っているため、耐用年数を大幅に経過した医療機器等の更新を進めながら、医業収益の確保を図ることが必要となる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（平成30年度決算）

北海道 緑ヶ丘病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|-----------|---------|---------|-----------|-----------------|
| 条例全部 | 病院事業 | 精神科病院 | 精神病院 | 自治体職員 学術・研究機関出身 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営 | 1 | - | - | 臨 |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 看護配置 | |
| 5,304,413 | 13,670 | 非該当 | 15:1 | |

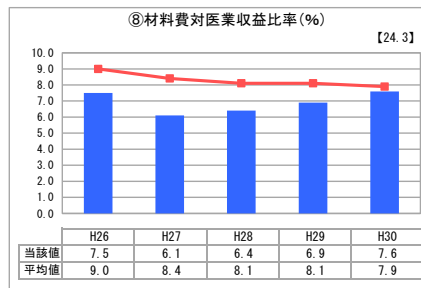
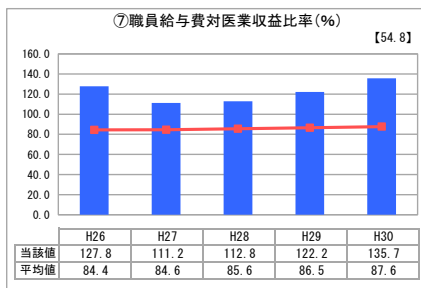
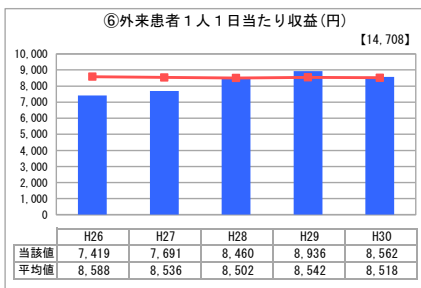
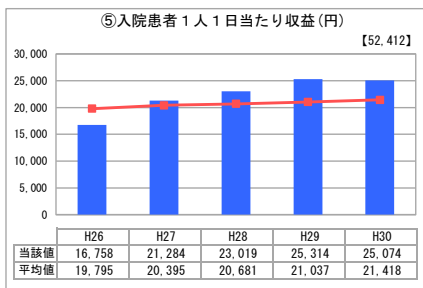
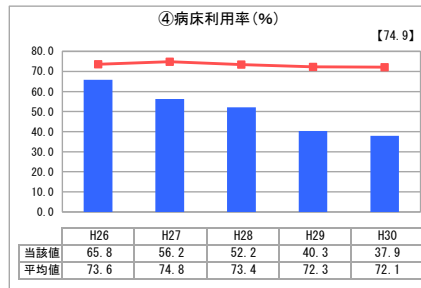
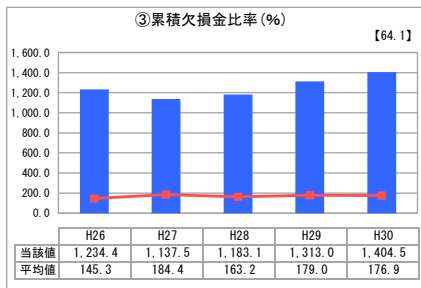
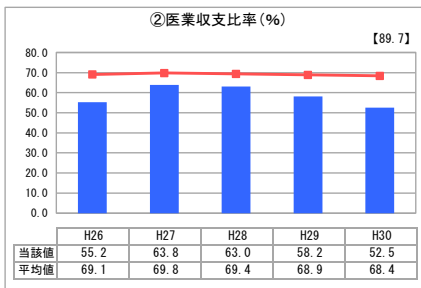
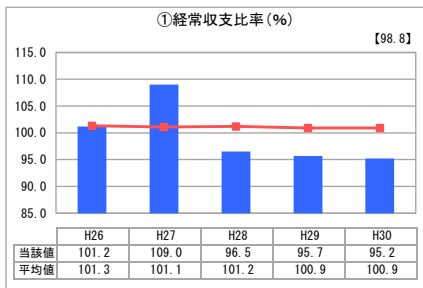
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

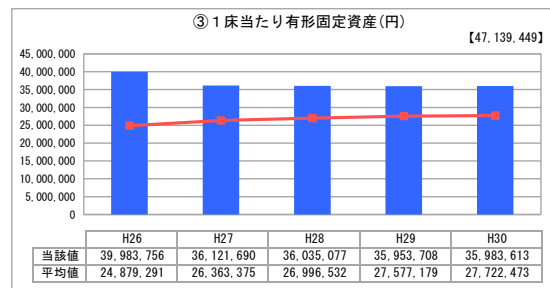
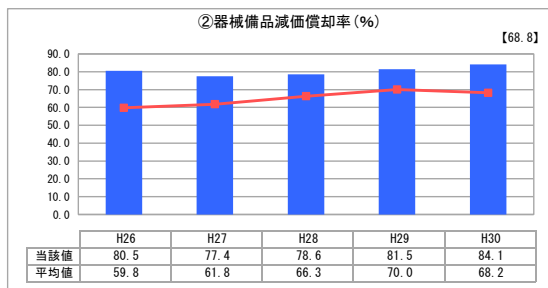
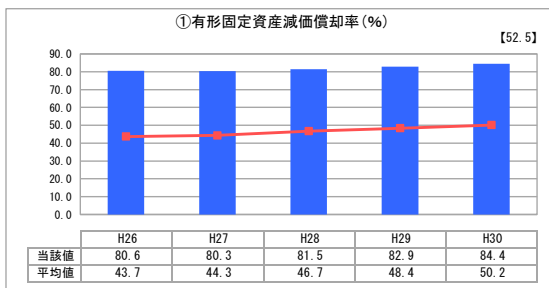
| 許可病床（一般） | 許可病床（療養） | 許可病床（結核） |
|----------|-----------|-------------|
| - | - | - |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計） |
| 168 | - | 168 |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養） | 稼働病床（一般+療養） |
| - | - | - |

| グラフ凡例 | |
|-------|--------------|
| ■ | 当該病院値（当該値） |
| — | 類似病院平均値（平均値） |
| [] | 平成30年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

| 再編・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| -年度 | -年度 | -年度 |

I 地域において担っている役割

十勝第三次医療圏における精神科救急及び急性期医療の病院として、平成27年3月から精神科救急入院科棟の運用を開始し、入院後の早期の地域生活への移行や、退院後の訪問看護等による在宅支援、圏域で唯一となる児童・思春期精神科医療の専門外来や専用病床を有するなど、圏域における中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ◆経常収支比率
平成28年度以降、地域生活への移行に伴う入院患者数の減少による④病床利用率の大幅な低下等により下落している。
- ◆医業収支比率
平成28年度以降、地域生活への移行に伴う入院患者数の減少による④病床利用率の大幅な低下等により下落している。
- ◆累積欠損金比率
純損失の計上に伴う累積欠損金の増加により平成28年度以降は上昇している。
- ◆職員給与と費対医業収益比率
平成28年度以降、職員給与の増加や入院患者数の減少による医業収益の減少により上昇している。

2. 老朽化の状況について

- ◆有形固定資産減価償却率
平成26年度の会計基準の見直しに伴うみなし償却制度の廃止により、有形固定資産減価償却累計額が増加し、その後も上昇している。
- ◆器械備品減価償却率
平成26年度の会計基準の見直しに伴うみなし償却制度の廃止により、有形固定資産減価償却累計額が増加し、その後も上昇している。
- ◆1床当たり有形固定資産は、平成26年度の会計基準の見直しに伴うみなし償却制度の廃止により増加したが、その後はほぼ同程度で推移している。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性」の指標である②医業収支比率及び④病床利用率は下落していることから、圏域内において必要とされる機能の充実を図り、患者数を確保していくとともに、材料費など効率的な費用の執行が必要となる。
また、「2. 老朽化の状況」の指標である①有形固定資産減価償却率や②器械備品減価償却率は上昇傾向にあるため、耐用年数を踏まえて大幅に経過した医療機器等の更新を進めるとともに、患者ニーズに対応した療養環境を整備しながら医業収益の確保を図ることが必要となる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（平成30年度決算）

北海道 向陽ヶ丘病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|-----------|---------|---------|-----------|-----------------|
| 条例全部 | 病院事業 | 精神科病院 | 精神病院 | 自治体職員 学術・研究機関出身 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営 | 1 | - | - | 臨 |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 看護配置 | |
| 5,304,413 | 7,074 | 非該当 | 15:1 | |

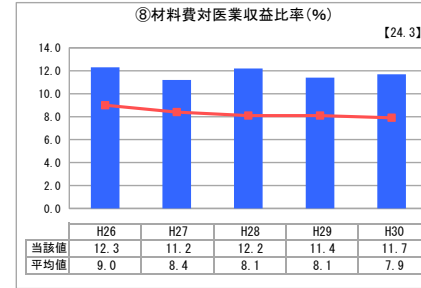
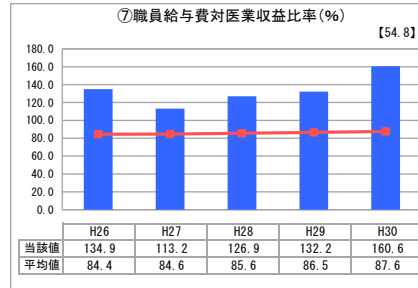
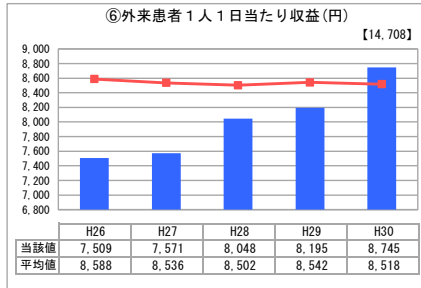
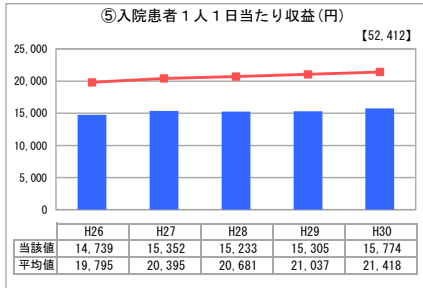
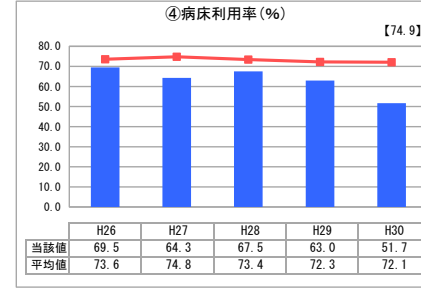
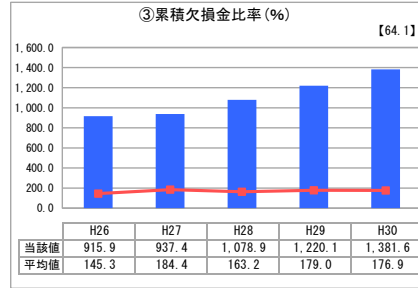
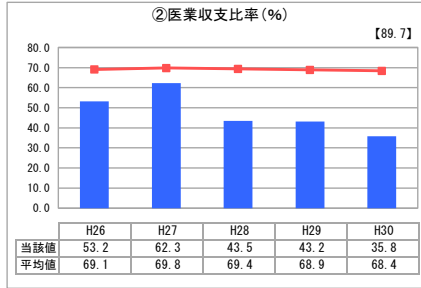
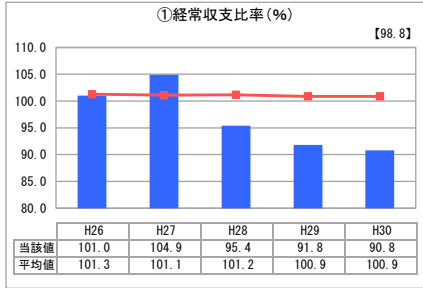
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

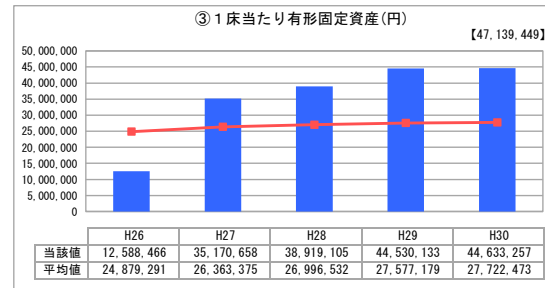
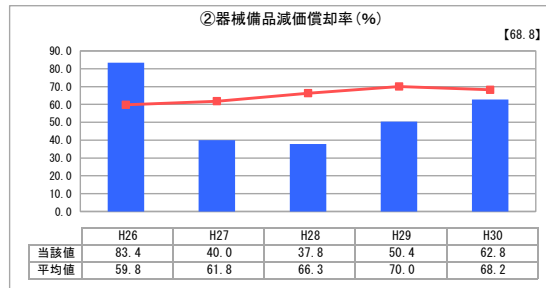
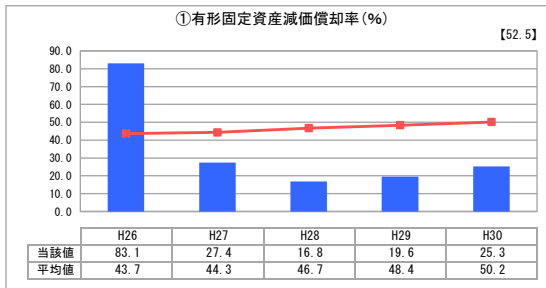
| 許可病床（一般） | 許可病床（療養） | 許可病床（結核） |
|----------|-----------|-------------|
| - | - | - |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計） |
| 105 | - | 105 |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養） | 稼働病床（一般+療養） |
| - | - | - |

| グラフ凡例 |
|----------------|
| ■ 当該病院値（当該値） |
| — 類似病院平均値（平均値） |
| [] 平成30年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

| 再編・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| -年度 | -年度 | -年度 |

I 地域において担っている役割

オホーツク第三次医療圏における精神科救急及び急性期医療の病院として、入院後の早期の地域生活への移行や、退院後の訪問看護等による在宅支援、平成26年度に開設した認知症疾患医療センターによる専門医療などにより、圏域における中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ◆経常収支比率
平成28年度以降、地域生活への移行に伴う入院患者数の減少による④病床利用率の低下等により下落している。
- ◆医業収支比率
平成28年度以降、地域生活への移行に伴う入院患者数の減少による④病床利用率の低下等により下落している。
- ◆累積欠損金比率
累積欠損金の計上に伴う累積欠損金の増加により上昇している。
- ◆職員給与費対医業収益比率
職員給与費対医業収益比率は、平成28年度以降、上昇傾向にあり、平成30年度は職員給与費の増加や医業収益の減少により大幅に上昇している。

2. 老朽化の状況について

- ◆有形固定資産減価償却率
平成26年度の会計基準の見直しに伴うみなし償却制度の廃止により、有形固定資産減価償却累計額は増加したが、平成27年度以降は病院新築に伴う固定資産の計上により、大幅に下落している。
- ◆器械備品減価償却率
平成26年度の会計基準の見直しに伴うみなし償却制度の廃止により、有形固定資産減価償却累計額は増加し、平成27年度以降は病院新築に伴う医療機器購入等により大幅に下落したが、平成29年度以降は経年により上昇している。
- ◆1床当たり有形固定資産
平成26年度まで低水準で推移していたが、平成27年度以降は病院新築に伴い、許可病床数を減床したことや、医療機器等を購入したことにより大幅に増加している。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性」の指標である⑤入院患者1人1日当たり収益及び⑥外来患者1人1日当たり収益は増加傾向にあるものの、②医業収支比率及び④病床利用率は下落傾向にあることから、診療報酬請求の適正化による医業収益の確保や、圏域内において必要とされる機能の充実を図り、患者数を確保していくことが必要となる。
また、「2. 老朽化の状況」の指標である①有形固定資産減価償却率や②器械備品減価償却率は、平成27年度以降は病院新築により大幅に下落しており、更なる患者ニーズに対応しながら医業収益の確保を図ることが必要となる。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（平成30年度決算）

北海道 北見病院

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|--------------|---------|---------|--------------|-----------------|
| 条例全部 | 病院事業 | 一般病院 | 50床以上～100床未満 | 自治体職員 学術・研究機関出身 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 指定管理者(利用料金制) | 6 | - | 透 | 臨 |
| 人口(人) | 建物面積(㎡) | 不採算地区病院 | 看護配置 | |
| 5,304,413 | 5,378 | 非該当 | 7:1 | |

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン(放射線)診療

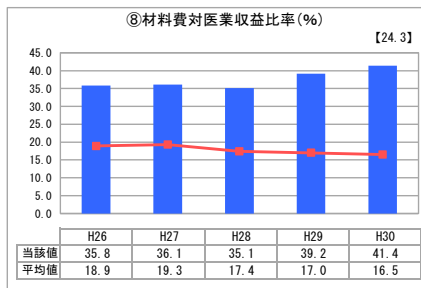
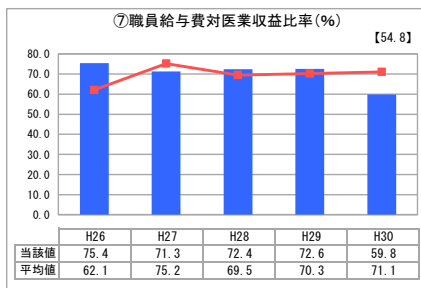
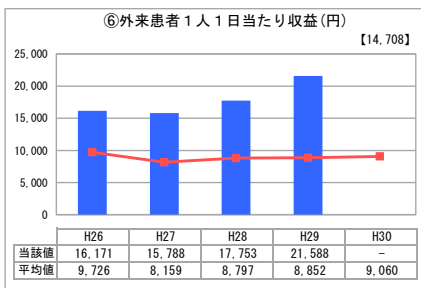
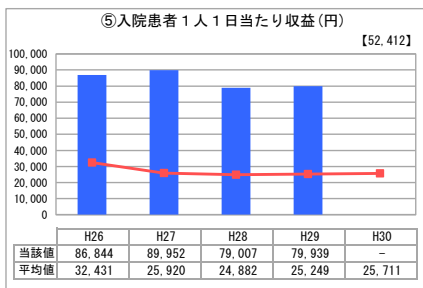
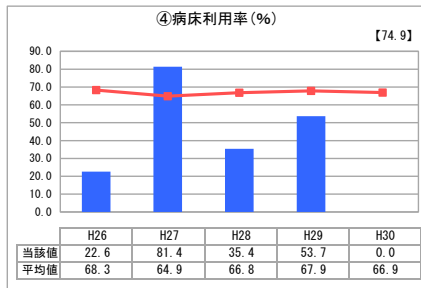
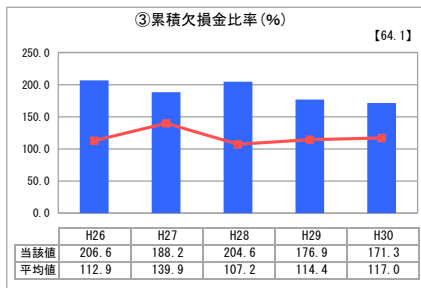
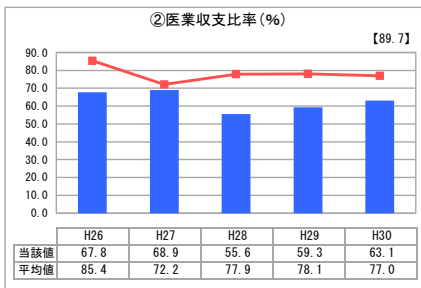
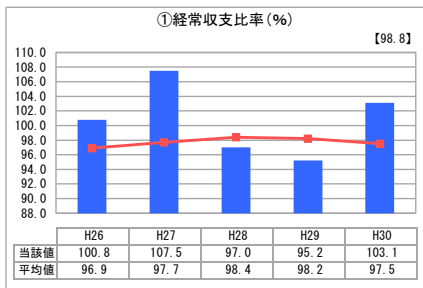
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

| 許可病床(一般) | 許可病床(療養) | 許可病床(結核) |
|----------|-----------|-------------|
| 70 | - | - |
| 許可病床(精神) | 許可病床(感染症) | 許可病床(合計) |
| - | - | 70 |
| 稼働病床(一般) | 稼働病床(療養) | 稼働病床(一般+療養) |
| 70 | - | 70 |

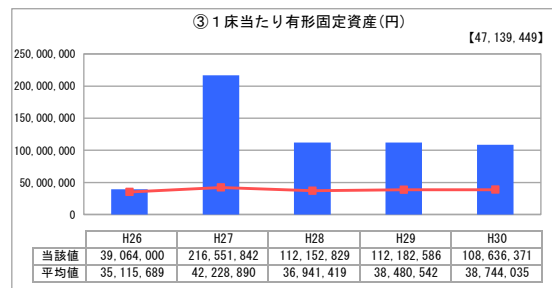
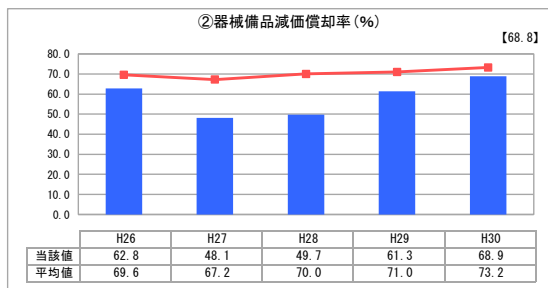
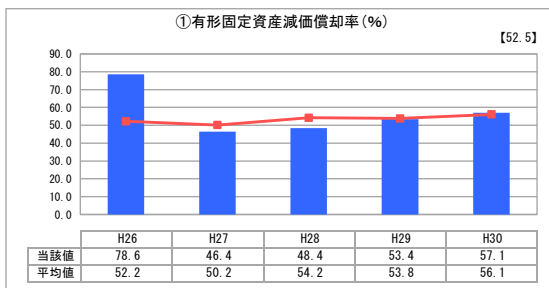
グラフ凡例

- 当該病院値(当該値)
- 類似病院平均値(平均値)
- 【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組(直近の実施時期)

| 再編・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| -年度 | -年度 | 平成30年度 |

I 地域において担っている役割

オホーツク第三次医療圏で唯一、心臓血管外科手術を実施するなど、圏域における循環器・呼吸器疾患の高度・専門医療の中心的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ◆経常収支比率
平成28年度以降、下落傾向にあったが、平成30年度から指定管理者制度を導入したことによる管理運営コスト削減によって上昇している。
 - ◆医業収支比率
外来患者数及び1人1日当たり収益の増などに伴う医業収益の増加により上昇している。
 - ◆職員給与費対医業収益比率
平成27年度以降は同程度で推移していたが、平成30年度は医業収益の増加や職員給与費の減少により下落している。
- ※平成30年度から指定管理者制度を導入し、データ集計方法が変わったため、④～⑥のグラフ表示がされていないが、各指標は次のとおり。
- ④病床利用率 53.8%
 - ⑤入院患者1人1日当たり収益 79,948円
 - ⑥外来患者1人1日当たり収益 22,255円

2. 老朽化の状況について

- ◆有形固定資産減価償却率
平成27年度の病院新築に伴う固定資産の計上により大幅に下落しているが、その後は経年により上昇している。
- ◆器械備品減価償却率
平成27年度の病院新築に伴う医療機器購入等により下落しているが、その後は経年により上昇している。
- ◆1床当たり有形固定資産
平成27年度以降は病院新築に伴い、許可病床数を減床したことや、新築に伴う医療機器購入等により、大幅に上昇している。

全体総括

指定管理者制度導入前と比較し、入院患者、外来患者数も増加しており、「1. 経営の健全性・効率性」の指標である①経常収支比率、②医業収支比率は前年度より上昇していることから、指定管理者制度による運営を継続し、引き続き、経営の健全化・効率性について検証していく必要がある。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（平成30年度決算）

北海道 子ども総合医療・療育センター

| 法適用区分 | 業種名・事業名 | 病院区分 | 類似区分 | 管理者の情報 |
|-----------|---------|---------|---------------|-----------------|
| 条例全部 | 病院事業 | 一般病院 | 200床以上～300床未満 | 自治体職員 学術・研究機関出身 |
| 経営形態 | 診療科数 | DPC対象病院 | 特殊診療機能 ※1 | 指定病院の状況 ※2 |
| 直営 | 16 | - | I 未訓 方 | - |
| 人口（人） | 建物面積（㎡） | 不採算地区病院 | 看護配置 | |
| 5,304,413 | 18,116 | 非該当 | 7 : 1 | |

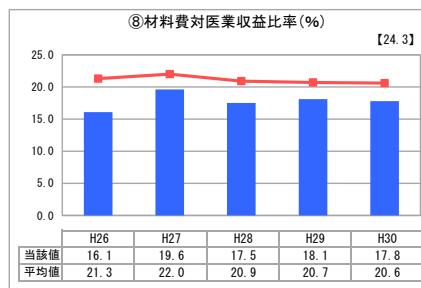
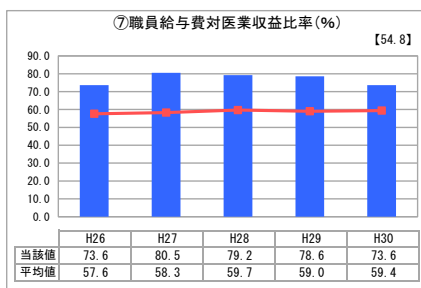
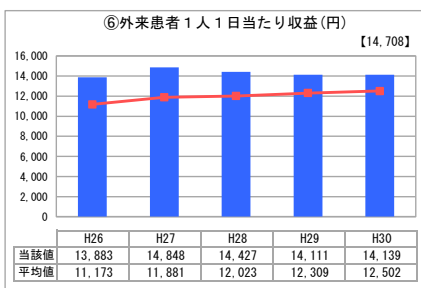
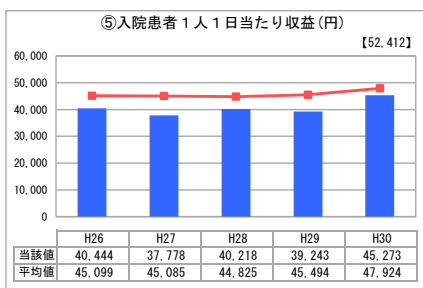
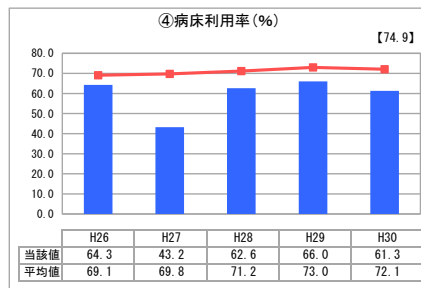
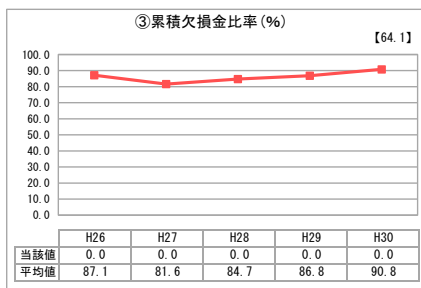
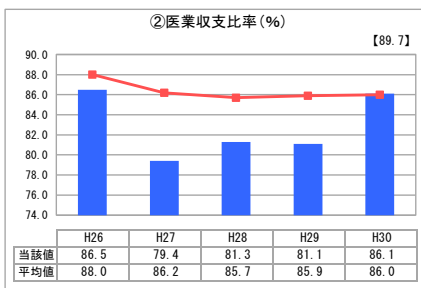
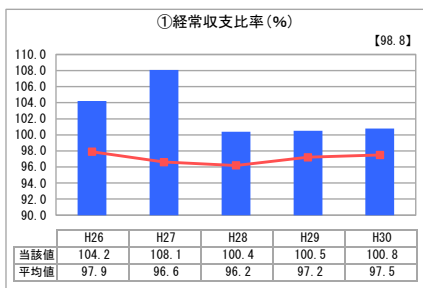
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 方…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

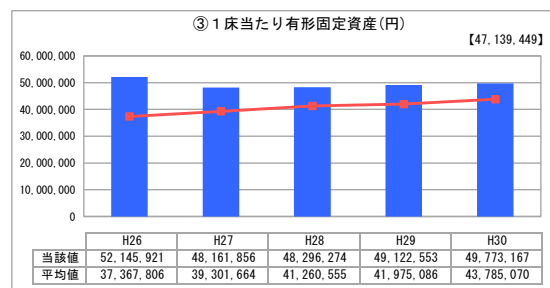
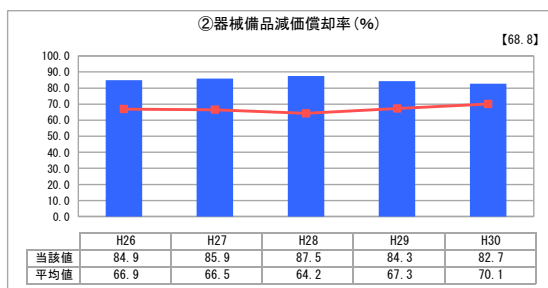
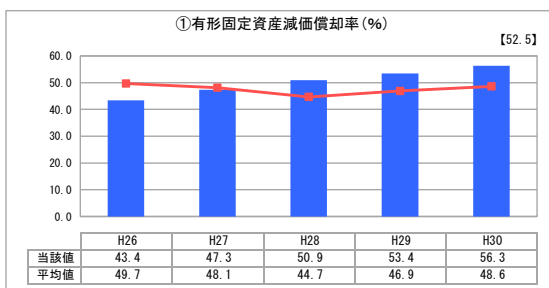
| 許可病床（一般） | 許可病床（療養） | 許可病床（結核） |
|----------|-----------|-------------|
| 215 | - | - |
| 許可病床（精神） | 許可病床（感染症） | 許可病床（合計） |
| - | - | 215 |
| 稼働病床（一般） | 稼働病床（療養） | 稼働病床（一般+療養） |
| 207 | - | 207 |

| グラフ凡例 |
|----------------|
| ■ 当該病院値（当該値） |
| — 類似病院平均値（平均値） |
| [] 平成30年度全国平均 |

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

| 再編・ネットワーク化 | 地方独立行政法人化 | 指定管理者制度導入 |
|------------|-----------|-----------|
| - 年度 | - 年度 | - 年度 |

I 地域において担っている役割

北海道全域を圏域としており、ハイリスクの胎児や新生児に対する特殊な周産期医療を提供する特定機能産産期母子医療センター機能、先天性心疾患等への高度医療を提供する循環器病センター機能、医療的リハビリテーション等を提供する総合発達支援センター機能を有しており、医療部門と療育部門が連携した複合的な役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ◆経常収支比率
平成28年度以降、同水準で推移しており、平成30年度は④病床利用率が低下したものの、⑤入院患者1人1日当たり収益の増加などにより、前年度ほぼ同程度となっている。
- ◆医業収支比率
外来患者数の増加や入院患者1人1日当たり収益の増加に伴い、医業収益が増加したことから前年度より上昇している。
- ◆職員給与費対医業収益比率
医業収益が増加したことから前年度より下落している。

2. 老朽化の状況について

- ◆有形固定資産減価償却率
平成26年度の会計基準の見直しに伴うみなし償却制度の廃止による影響はなかったことから、経年により上昇している。
- ◆器械備品減価償却率
平成26年度の会計基準の見直しに伴うみなし償却制度の廃止による影響はなかったことから、経年により上昇しており、平成29、30年度は機器の更新が増えたことにより下落している。
- ◆1床当たり有形固定資産
センター開設後の大規模修繕や高度医療機器の更新はないことから、同水準で推移している。

全体総括

「1. 経営の健全性・効率性」の指標である①経常収支比率、①医業収支比率は上昇傾向にあることから、診療報酬請求の適正化による医業収益の確保や、患者ニーズに対応する体制整備を進めながら患者数を確保していくことが必要となる。
また、「2. 老朽化の状況」の指標である①有形固定資産減価償却率は上昇傾向にあるため、耐用年数を大幅に経過した設備等の更新を進めながら、医業収益の確保を図ることが必要となる。

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。